

令和2年度学校評価に関する年度末評価報告書

令和3年2月18日

福島県立湯本高等学校学校評価研究委員会

このアンケートは令和2年度学校経営・運営ビジョンに基づく教職員・保護者及び生徒に対するアンケートです。これらのアンケートは教職員が教育活動について自己評価し、教育活動の改善に役立てることを目的の一つとしています。また、学校評価によって「子どもの変容」を段階的に確認するとともに、学校評価を通じて「学校組織の変容」を模索する過程でもあります。さらに、「開かれた学校作り」の推進のため、「情報の共有」を図ることも目的の一つであり、分析結果については学校評議員及びPTA新聞等に公開し、共通理解を図りながら『学校経営・運営ビジョン』の実現に役立てていきます。

○評価基準 1：十分評価できる 2：だいたい評価できる
3：あまり評価できない 4：まったく評価できない

○本報告書においては、1・2を選択した割合が70%以上は「◎」、69～50%は「○」、49～30%は「△」、30%未満は「×」で示しています。「※」は評価の対象ではないものです。

○アンケート人数 生徒 682名中 662名回答 (回答率 97.1%)
保護者 682名中 566名回答 (回答率 85.5%)
教職員 46名中 46名回答 (回答率100.0%)

1 教育内容・方法の改善充実に関すること

(1)

対象	R1 期末	R2 期末	質問事項	1・2を選択した割合		
				R1 末	R2 中	R2 末
生徒	◎	◎	学校の授業はわかりやすく工夫されていますか。	96%	96%	96%
保護者	◎	◎	学校の授業はわかりやすく工夫されているとお子様は話していますか。	82%	83%	83%
教職員	◎	◎	わかりやすい授業に向けて工夫していますか。	93%	98%	98%

生徒、保護者、教職員に係る結果では、今までと同程度の高い評価であった。授業はわかりやすく工夫されているので、そこで得た知識の定着と活用が今後の課題である。

(2)

対象	R1 期末	R2 期末	質問事項	1・2を選択した割合		
				R1 末	R2 中	R2 末
生徒	◎	◎	あなたは居眠りや私語をせずに集中して真剣に授業に取り組んでいますか。	77%	75%	79%
保護者	◎	◎	お子様は集中して真剣に学習（授業）に取り組んでいると思いますか。	79%	85%	84%
教職員	◎	◎	生徒は居眠りや私語をせずに集中して真剣に授業に取り組んでいますか。	86%	87%	89%

昨年度同期と比べて、生徒、保護者、教職員全ての評価が上がった。これは、生徒の授業に臨む姿勢が高くなってきていることの表れと考えられる。

対象	R1 期末	R2 期末	質問事項	1・2を選択した割合		
				R1 末	R2 中	R2 末
生徒	△	△	あなたは授業を理解するために日頃から予習・復習に取り組んでいますか。	46%	54%	49%
保護者	○	○	お子様は授業を理解するために予習・復習に取り組んでいますか。	52%	59%	57%
教職員	×	△	生徒は授業を理解するために日頃から予習・復習に取り組んでいますか。	23%	37%	47%

生徒、保護者、教職員いずれも低い評価であるが、昨年度同期と比較して、生徒で3ポイント、保護者で5ポイント、教職員で24ポイント評価が上がった。日々の授業や課題をとおしての指導、LHRや全校集会などをとおして、生徒に家庭学習の習慣化について訴えてきた指導の成果が表れてきたと考えられる。しかし、今後も様々な機会を通して、さらなる意識の高揚を図っていく必要がある。

対象	R1 期末	R2 期末	質問事項	1・2を選択した割合		
				R1 末	R2 中	R2 末
生徒	◎	◎	あなたは学習に必要な教科書・ノートなどを忘れずに準備して授業に取り組んでいますか。	98%	97%	97%
保護者	◎	◎	お子様は学習に必要な教科書・ノートなどを忘れずに準備して授業に取り組んでいますか。	93%	93%	95%
教職員	◎	◎	生徒は学習に必要な教科書・ノートなどを忘れずに準備して授業に取り組んでいますか。	95%	96%	93%

生徒、保護者、教職員すべてにおいて高評価となった。本来 100% にならないといけない項目なので、生徒及び保護者に対して、今後とも指導の継続を図りたい。

(5)

対象	R1 期末	R2 期末	質問事項	1・2を選択した割合		
				R1 末	R2 中	R2 末
生徒	◎	◎	本校の学習活動（課外・小論文・個別指導を含む）は進路実現に向けて役立っていると思いますか。	95%	94%	96%
保護者	◎	◎	本校の学習活動（課外・小論文・個別指導を含む）は進路実現に向けて役立っていると思いますか。	87%	88%	87%
教職員	◎	◎	進路指導に役立つ指導（課外・小論文・個別指導など）や授業の工夫をしていますか。	96%	94%	96%

生徒、保護者、教職員すべてにおいて高い評価となった。次年度も、授業や課外、個別指導など、これまでの取組をさらに充実させることに加えて、3年生の大学受験等に係る小論文指導や個別添削指導などとおして進路目標の実現を図りたい。

(6)

対象	R1 期末	R2 期末	質問事項	1・2を選択した割合		
				R1 末	R2 中	R2 末
生徒	◎	◎	個人面接や三者面談などで生徒・保護者との相互理解は図れていますか。	95%	92%	91%
保護者	◎	◎	個人面接や三者面談などで教師・保護者との相互理解は図られていますか。	92%	79%	75%
教職員	◎	◎	個人面接や三者面談などで教師・保護者との相互理解を図っていますか。	96%	98%	89%

昨年度同期と比較して、生徒で4ポイント、保護者で17ポイント、教職員で7ポイント評価が下がった。これは、新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業や学年PTAの中止、夏季休業中の面談の縮小などが要因として考えられる。次年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を見ながら計画的に個人面接や三者面談を実施し、生徒、保護者及び教員間の相互理解を図っていきたい。

(7)

対象	R1 期末	R2 期末	質問事項	1・2を選択した割合		
				R1 末	R2 中	R2 末
生徒	◎	◎	本校の進路指導や学年の進路情報の提供は充実していますか。	93%	93%	92%
保護者	◎	◎	本校の進路指導部や学年の進路情報の提供は充実していますか。	82%	81%	80%
教職員	◎	◎	進路指導（担任の立場・教科指導の立場等）の充実に努めていますか。	100%	98%	91%

今年度から大学入学共通テストが開始され、さらに新型コロナウイルス感染症により、入試の変更があいついだなか、生徒及び保護者は進路指導や進路情報提供について概ね充実していると感じているものの、教員の評価が9ポイント下がった。これは、今年度の大学入学共通テスト等の結果や今年度の大学入試等の状況を踏まえ、次年度の教科指導等の充実に努めていこうとする意識の表れである。

3 部活動の充実に関すること

(8)

対象	R1 期末	R2 期末	質問事項	1・2を選択した割合		
				R1 末	R2 中	R2 末
生 徒	◎	◎	本校の部活動・委員会活動・生徒会活動は充実していますか。	92%	94%	92%
保護者	◎	◎	本校の部活動・委員会活動・生徒会活動は充実していますか。	93%	90%	92%
教職員	◎	◎	部活動・委員会活動・生徒会活動の充実に努めていますか。	96%	100%	93%

コロナ禍の状況ではあるが、生徒、保護者、教職員すべてにおいて高い評価となった。これは、一年をとおしてコロナ禍の中で実施できることや、方法を考え取り組んできた成果であると捉えている。次年度も、さらに検討を深めて取り組んでいく。

対象	R1 期末	R2 期末	質問事項	1・2を選択した割合		
				R1 末	R2 中	R2 末
生徒	◎	◎	あなたは積極的に部活動・委員会活動・生徒会活動に取り組んでいますか。	86%	85%	84%
保護者	◎	◎	お子様は積極的に部活動・委員会活動・生徒会活動に取り組んでいますか。	84%	83%	84%
教職員	◎	◎	生徒は積極的に部活動・委員会活動・生徒会活動に取り組んでいますか。	84%	89%	87%

コロナ禍の中ではあるが、生徒、保護者、教職員ともに、昨年同様の高い評価となった。多くの生徒に対して、部活動等に積極的に参加する指導を継続していく。

(10)

対象	R1 期末	R2 期末	質問事項	割合					
				R1 中		R1 期		R2 中	
生徒	※	※	本校での生活はどのような活動が充実していますか。	1	28%	1	34%	1	32%
				2	65%	2	60%	2	61%
				3	3%	3	2%	3	3%
				4	4%	4	4%	4	5%
保護者	※	※	お子様は本校での生活のどのような活動に充実感を いただいていますか。	1	28%	1	34%	1	32%
				2	60%	2	55%	2	56%
				3	7%	3	5%	3	6%
				4	6%	4	6%	4	6%
教職員	※	※	どのような活動で生徒が充実した生活を送っていますか。	1	5%	1	21%	1	16%
				2	82%	2	70%	2	80%
				3	5%	3	0%	3	0%
				4	9%	4	9%	4	4%

【評価基準 1：学習活動 2：部活動・委員会活動 3：その他 4：充実していない】
「充実していない」と回答した生徒、保護者、教員で若干名いる。すべての生徒が、学校生活を充実したものと感じられるよう支援を考える必要がある。

(1 2)

対象	R1 期末	R2 期末	質問事項	1・2を選択した割合		
				R1 末	R2 中	R2 末
生徒	◎	◎	心身ともに健康な生活を送るために先生方は親身に相談に乗ってくれますか。	91%	92%	92%
保護者	◎	◎	心身ともに健康な生活を送るために先生方は親身に相談に乗ってくれますか。	90%	90%	89%
教職員	◎	◎	生徒が心身ともに健康な生活を送るためにあなたは親身に相談に乗っていますか。	98%	98%	98%

昨年度と同様に高い評価である。スクールカウンセラー等との連携をさらに深めながら、今後とも生徒が健康で安心して学校生活を送ることができるよう支援していく。

$$(1\ 3)$$

対象	R1 期末	R2 期末	質問事項	1・2を選択した割合		
				R1 末	R2 中	R2 末
生徒	◎	◎	あなたは校内・校外のボランティア活動に積極的に参加したいと思っていますか。	94%	94%	93%
保護者	◎	◎	お子様は本校の校内・校外のボランティア活動に積極的に参加しようとしていますか。	85%	82%	81%
教職員	◎	◎	生徒はボランティア活動に積極的に参加しようとしていますか。	80%	83%	78%

【評価基準 1：ぜひ、したい 2：機会があればしたい 3：あまりしたくない 4：したくない】

ボランティア活動に参加したいという生徒、保護者は多い。今年度はコロナ禍の影響でボランティアの依頼が減ったが、依頼があった際には、生徒に周知し、参加の機会を提供していく。

5 学校評価・説明責任と関連団体との連携の充実に係ること

(14)

対象	R1 期末	R2 期末	質問事項	1・2を選択した割合		
				R1 末	R2 中	R2 末
生 徒	※	※	(なし)	※	※	※
保護者	◎	◎	本校の教育活動はP T A、教育後援会、地域等の要望に十分 応えていますか。	88%	88%	87%
教職員	◎	◎	本校は教育内容理解のためP T A、教育後援会、地域等への P R活動、連携について努力していますか。	95%	91%	87%

教職員による教育活動の実践及びその成果等の発信に対する保護者の受け止め方は、高い評価である。今後とも継続し、さらに連携を深めたい。

(15)

対象	R1 期末	R2 期末	質問事項	1・2を選択した割合		
				R1 末	R2 中	R2 末
生徒	※	※	(なし)	※	※	※
保護者	※	※	(なし)	※	※	※
教職員	◎	◎	学校経営運営ビジョンや学校評価の推進に努力していますか。	91%	92%	93%

学校経営運営ビジョンや学校評価の推進について、引き続き学校全体で取り組んでいきたい。

(16)

対象	R1 期末	R2 期末	質問事項	1・2を選択した割合		
				R1 末	R2 中	R2 末
生徒	※	※	(なし)	※	※	※
保護者	○	○	本校の教育活動推進のため、PTA、教育後援会活動等に協力していますか。	59%	57%	59%
教職員	◎	◎	保護者は本校の教育活動推進のため、PTA、教育後援会活動等に協力していますか。	80%	89%	87%

教職員の高評価に対して、保護者の自己評価が低い。PTA行事等について、より多くの保護者が参加できるよう、PTA活動についての理解、日程の調整、広報の方法を工夫するなどして、より多くの協力を得られるようにしたい。